

国語

(文学国語)

発 番 号	行 名	者 称略 称	教科書の記号・番号	判型	ページ数	検定済年
2	東京書籍	東書	文国 002-901	A 5	358	令和 8 年
2	東京書籍	東書	文国 002-902	A 5	438	令和 8 年
15	三省堂	三省堂	文国 015-901	A 5	426	令和 8 年
15	三省堂	三省堂	文国 015-902	A 5	353	令和 8 年
50	大修館書店	大修館	文国 050-901	A 5	458	令和 8 年
50	大修館書店	大修館	文国 050-902	A 5	430	令和 8 年
104	数研出版	数研	文国 104-901 ◆	A 5	518	令和 8 年
117	明治書院	明治	文国 117-901 ◆	A 5	438	令和 8 年
143	筑摩書房	筑摩	文国 143-901	A 5	480	令和 8 年
183	第一学習社	第一	文国 183-901	A 5	474	令和 8 年
183	第一学習社	第一	文国 710	A 5	348	令和 4 年
212	桐原書店	桐原	文国 212-901 ◆	A 5	456	令和 8 年
212	桐原書店	桐原	文国 711 ◆	A 5	426	令和 4 年

※「教科書の記号・番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

文学国語		冊数	13冊
発行者の略称・ 教科書の番号	東書002-901 東書002-902 三省堂015-901 三省堂015-902 大修館050-901 大修館050-902 数研104-901 明治117-901 筑摩143-901 第一183-901 第一710 桐原212-901 桐原711		

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【国語の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- (3) 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【文学国語の目標】

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【文学国語の内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
[知識及び技能] (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 (2) 我が国の言語文化に関する事項 [思考力、判断力、表現力等] A 書くこと ○ 題材の設定、情報の収集、内容の検討 ○ 構成の検討 ○ 考えの形成、記述 ○ 推敲、共有 B 読むこと ○ 構造と内容の把握 ○ 精査・解釈 ○ 考えの形成、共有	(1)内容の〔思考力、判断力、表現力等〕における授業時数については、次の事項に配慮するものとする。 ア 「A書くこと」に関する指導については、30～40単位時間程度を配当するものとし、計画的に指導すること。 イ 「B読むこと」に関する指導については、100～110単位時間程度を配当するものとし、計画的に指導すること。 (2)内容の〔思考力、判断力、表現力等〕に関する指導については、次の事項に配慮するものとする。 ア 「B読むこと」に関する指導については、必要に応じて、文学の変遷を扱うこと。 (3)教材については、次の事項に留意するものとする。 ア 内容の〔思考力、判断力、表現力等〕の「B読むこと」の教材は、近代以降の文学的な文章とすること。また、必要に応じて、翻訳の文章、古典における文学的な文章、近代以降の文語文、演劇や映画の作品及び文学などについての評論文などを用いることができること。 イ 内容の〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域における言語活動が十分行われるよう教材を選定すること。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表

調査項目	対象の根拠（目標等との関連）
a 単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成	学習指導要領第2章 第1節 第3款
b 読書に関する指導	学習指導要領第2章 第1節 第2款 第4、2(2)イ
その他の項目(各教科共通)	学習指導要領総則、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン

イ 調査項目の具体的な内容

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b 及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成
 - ・ 各単元において、どのような資質・能力を育成できるか見取る。
- b 読書に関する指導
 - ・ 読書に関する指導についてどのように扱っているかを見取る。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
- ・ 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫
- ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

② 調査対象事項を設定した理由等

- a 単元など内容や時間のまとまりを通して、その中で育む資質・能力の育成
 - ・ 学習指導要領の第3款の中で「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて」と言及されているので、文学国語では、各単元(各文章)における「知識及び技能」「書くこと」「読むこと」の指導の場面がどのように設定されているかという視点で質的な調査をする。
- b 読書に関する指導
 - ・ 学習指導要領では、「人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めること」を身に付けることができるよう指導することとされている。このことから、読書に関する指導の場面がどのように設定されているかという視点で質的な調査をする。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取扱いについては、学習指導要領総則に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫（各教科共通）

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点
- ・ 自立した学習者の育成に資する工夫

教科名	国語
科目名	文学国語

発行者（略称）	東書
教科書番号	文国002-901
教科書名	新編文学国語
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> 教材末に「漢字と語彙」が設けられ、漢字や語彙についての理解を深められるよう工夫されている。 「修辞を用いて短歌を作ろう」、「情景を言葉で描写しよう」という「言語活動」が設けられ、表現技法や文体の特徴が理解できるよう工夫されている。 教材の内容やテーマに関する「文学の窓」というコラムが設けられ、言葉には認識や思考を支える働きがあることが理解できるよう工夫されている。
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> 和歌を創作したり、書いた文章を読みあつたりする「言語活動」が設けられ、目的や意図に応じて、情報を収集、整理して、表現したいことを明確にするなど、文学的文章を書く学習活動が複数設定されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> 小説、詩歌などを通じて、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色などについて学ぶとともに、文学作品の内容を精査・解釈することができるような構成になっている。 古典における文学的文章を掲載し、古人のものの見方や感じ方、考え方を知り、自分の考えを広げたり深めたりすることができるよう工夫されている。 目的に応じて、文章などに含まれている情報を相互に関係付けながら、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる構成になっている。 教材末に「学習の手引き」や「言語活動」が設けられ、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えるなど、読むことについて体系的に学ぶことができる構成になっている。
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> 「ブックガイド」で読書意欲を喚起し、読書の幅を広げられるよう日本や世界のさまざまな文学作品を取り上げている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> 「古典の窓」が設けられ、漢文と古典落語や『源氏物語』の現代語訳などについて理解し、我が国の文化や他国の文化との違いが考えられるよう工夫されている。 「国語から旅立って」「書かれた風景の中へ」において、外国人から見た日本語に触れ、日本語や日本の文化に関するものの見方・考え方を広げることができるよう工夫されている。 「空っぽの瓶」において、日本語とドイツ語の一人称の違いを取り上げ、言葉と社会の在り様について考えられるよう工夫されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> 中島敦「山月記」で、「妻子の衣食のためについに節を屈して～一地方官吏の職を奉ずる」という記述が見られる。 多和田葉子「空っぽの瓶」で、「当時、カラフルなフルーツとともに盛られたアイスクリームは、女の子や女性だけの食べ物と見なされていた。」「傘は青で、ロボットの絵が付いていた。つまりは男のものだ。」という記述が見られる。
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> 教科書に掲載されている作品や作者等に関する解説動画等にアクセスできるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> 全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインされている。
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭に「この教科書で学習するために」、巻末に「この教科書で学ぶこと」が示され、学び方、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標を理解できるよう工夫がされている。

教科名	国語
科目名	文学国語

発行者（略称）	東書
教科書番号	文国002-902
教科書名	精選文学国語

(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・教材末に「漢字と語彙」が設けられ、漢字や語彙についての理解を深められるよう工夫されている。 ・「小説を創作する」、「書評を書く」という「言語活動」が設けられ、表現技法や文体の特徴が理解できるよう工夫されている。 ・教材の内容やテーマに関する「文学への扉」というコラムが設けられ、文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解できるよう工夫されている。
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・小説を創作したり、書いた文章を読みあつたりする「言語活動」が設けられ、目的や意図に応じて、情報を収集、整理して、表現したいことを明確にするなど、文学的文章を書く学習活動が複数設定されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・小説、詩歌、戯曲などを通じて、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色などについて学ぶとともに、文学作品の内容を精査・解釈することができるような構成になっている。 ・読解教材と関連する作品を比較する「読み比べ」が設けられ、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理展開を評価したりするなど、自分の考えを深める工夫がされている。 ・教材末に「学習の手引き」や「言語活動」が設けられ、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えるなど、読むことについて体系的に学ぶことができる構成になっている。
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に「読書案内」が設けられ、各単元に掲載している教材についてのテーマやジャンルに関連する書籍が紹介されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・「文学のふるさと」において、童話「赤頭巾」と狂言「太郎冠者」、「伊勢物語」の「芥川」を比較しながら、「アモラル」という概念を提示し、その側面から文学の特徴を捉えられるように工夫されている。 ・「国語から旅立って」「書かれた風景の中へ」において、外国人から見た日本語に触れ、日本語や日本の文化に関するものの見方・考え方を広げることができるよう工夫されている。 ・「空っぽの瓶」において、日本語とドイツ語の一人称の違いを取り上げ、言葉と社会の在り様について考えられるよう工夫されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・中島敦「山月記」で、「妻子の衣食のために節を屈して〜地方官吏の職を奉ずる」という記述が見られる。 ・多和田葉子「空っぽの瓶」で、「当時、カラフルなフルーツとともに盛られたアイスクリームは、女の子や女性だけの食べ物と見なされていた。」「傘は青で、ロボットの絵が付いていた。つまりは男のものだ。」という記述が見られる。
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書に掲載されている作品や作者等に関する解説動画等にアクセスできるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインされている。
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「この教科書で学習するために」、巻末に「この教科書で学ぶこと」が示され、学び方、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標を理解できるよう工夫がされている。

教科名	国語
科目名	文学国語

発行者（略称）	三省堂
教科書番号	文国015-901
教科書名	精選 文学国語 改訂版

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・教材末に「語彙と漢字」が設けられ、漢字や語彙についての理解を深められるよう工夫されている。 ・「文学を読むために」として、「語り手」「象徴と寓話」「筋（プロット）」などのテーマごとに9編のコラムが掲載され、文学的文章の特徴を体系的に理解できるよう工夫されている。
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びを広げる」として、「小説を書き換える」「短歌を創作する」という活動が設定されており、読み手の関心が得られるよう文章の構成や展開を工夫したり、独創的な文章を創作したりすることを学べるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・小説、詩歌、戯曲などを通じて、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色などについて学ぶとともに、文学作品の内容を精査・解釈することができるような構成になっている。 ・文学や日本の伝統文化などに関する評論や随筆などを通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる構成になっている。 ・教材末に「課題A」「課題B」が設けられ、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えるなど、読むことについて体系的に学ぶことができる構成になっている。
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「広がる読書」として、「エッセイ」「ミステリー」「SF小説」などの種類ごとのコラムが5編掲載されている。 ・「ブックガイド」が設けられ、各単元で扱った作品と関連する書籍が紹介されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・小林秀雄「無常ということ」において、日本の文学や文学者、歴史や時間などに対する作者の見方や考え方を通じて、我が国の伝統や文化に連なる人間の生き方について考えられるよう工夫されている。 ・谷崎潤一郎「陰翳礼讃」において、日本の生活空間における暗さに触れ、日本の文化について考えられるよう工夫されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・中島敦「山月記」で、「妻子の衣食のためについ節を屈して～地方官吏の職を奉ずる」という記述が見られる。

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・作者や作品を紹介する動画サイトにアクセスしたり、ワークシートをダウンロードしたりすることができるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・カラーユニバーサルデザインに配慮されている。 ・文字にUDフォントが使用されている。
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「この教科書で身につく言葉の力」、「この教科書で学習するために」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標、学び方を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	文学国語

発行者（略称）	三省堂
教科書番号	文国015-902
教科書名	新 文学国語 改訂版

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	・資料編に「物語・小説読み解きツール」が設けられ、「語り手」「構成・展開」「場面設定」など12のテーマごとに、教科書掲載作品を例にポイントを図式化して掲載するなど、文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解できるよう工夫されている。 ・「参考」の中に「近代の文体をたどる」として、樋口一葉「雪の日」など明治時代の7つの作品の一部が掲載され、近代の文学的文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について音読しながら理解できるよう工夫されている。
【書くこと】	・「表現プラザ」として、「みんなてつなぐりレー小説」「想像からの語り」「現代に甦る歌物語」「誘惑する書評」「表現の宝さがし」「言葉でスケッチ」の6つの言語活動が設けられており、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫する学習活動ができるよう工夫されている。
【読むこと】	・小説、詩歌などを通じて、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色などについて学ぶとともに、文学作品の内容を精査・解釈することができるような構成になっている。 ・文学や古典などに関する評論や随筆、古典文学の現代語訳などを通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる構成になっている。 ・教材末に「学習活動のために」が設けられ、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えるなど、読むことについて体系的に学ぶことができる構成になっている。

b 読書に関する指導	
	・「読書案内」として、5編のコラムが掲載されている。 ・資料編に「探究のためのブックガイド」が掲載され、教科書内で取り上げた作品と関連する書籍が紹介されている。

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・「源氏物語—北山の垣間見」「鴻門の会—『史記』より」「『虫めづる姫君』の観察眼」など古文・漢文の翻訳作品や古文・漢文に取材した作品などが掲載されており、我が国と他国それぞれの文化を尊重する態度を養えるよう工夫されている。 ・「明治時代のスイーツ文豪男子」というコラムが掲載され、明治時代の文化の側面について理解できるよう工夫されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	・中島敦「山月記」で、「妻子の衣食のためについに節を屈して～地方官吏の職を奉ずる」という記述が見られる。

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	・二次元コードを読み取ることで、作者や作品を紹介する動画サイトにアクセスしたり、ワークシートをダウンロードしたりすることができるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	・カラーユニバーサルデザインに配慮されている。 ・文字にUDフォントが使用されている。
自立した学習者の育成に資する工夫	・巻頭に「この教科書が目指す国語の力」、「この教科書で学習するために」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標、学び方を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	文学国語

発行者（略称）	大修館
教科書番号	文国050-901
教科書名	文学国語 改訂版
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・教材末に「語句と漢字」「ことばと表現」が設けられ、漢字や語彙、言葉遣いや表現の技法などについての理解を深められるよう工夫されている。 ・「文学を読むために」として、「物語の構造」「詩の形式・表現」「登場人物の心情」など、8つのテーマを扱った教材が掲載され、文学を読むために必要な知識・技能が身に付くように工夫されている。 ・「文体の変遷」として、福沢諭吉「学問のすゝめ」など、明治初期から大正にかけての13の作品の一部が掲載され、文体の変遷を例文を読みながら体系的に理解できるよう工夫されている。
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・「体験にもとづいて書く」「構成を考えて書く」「物語の続きを創作する」「訳詩を作る」「視点を考えて書く」「キーワードを決めて書く」「文体を工夫して書く」「情景を短歌・俳句で表現する」「物語を戯曲化する」の9つの言語活動が設けられており、題材に応じて情報を収集、整理して、文章にまとめる学習を通して、書くことを体系的に学ぶことができるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・小説、詩歌などを通じて、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色などについて学ぶとともに、文学作品の内容を精査・解釈することができるような構成になっている。 ・人生や自然、文化や伝統などに関する評論や随筆などを通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる構成になっている。 ・教材末に「学習のポイント」が設けられ、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えるなど、読むことについて体系的に学ぶことができる構成になっている。
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「文学の扉」として、「文学の広がり」「漢文と日本文学」など7編のコラムが掲載されている。 ・各教材末に「著作案内」が載っており、著者による別の作品が紹介されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・中島敦「山月記」と「人虎伝」を読み比べる課題が設定され、比較しながらそれぞれの文化を尊重する考えをもてるよう工夫されている。 ・多和田葉子「月の誤訳」において、翻訳を通じて、日本語とドイツ語それぞれがもつ言葉の豊かさを考えられるように工夫されている。 ・谷崎潤一郎「陰翳礼讃」において、日本の生活空間における暗さに触れ、日本の文化について考えられるよう工夫されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・中島敦「山月記」で、「妻子の衣食のためについに節を屈して～一地方官吏の職を奉ずる」という記述が見られる。 ・角田光代「鍋セット」で、「女性誌の「男がよろこぶ料理」特集の上位～」「男を釣るのは胃袋だと～」という記述が見られる。
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・作者や作品を紹介する動画サイトにアクセスしたり、音声や動画を視聴したりすることができるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	記載なし
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「この教科書で身につく力」、「この教科書で学習するために」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標、学び方を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	文学国語

発行者（略称）	大修館
教科書番号	文国050-902
教科書名	新編 文学国語 改訂版

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・教材末に「語句と漢字」が設けられ、漢字や語彙についての理解を深められるよう工夫されている。 ・巻頭に「文学の扉を開こう」が設けられ、「文学的な文章とは？」「場面設定を押さえる」「場面の展開を追う」など、7つのテーマを扱った教材が掲載され、文学を読むために必要な知識・技能が身に付くように工夫されている。 ・「ことのは」として、「登場人物の言葉」「オノマトペ」「文体」「語り手・視点」など、9つの短いコラムが設けられ、文体の特徴や修辞などの表現の技法について理解できるよう工夫されている。
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・「言葉でスケッチ」「思いを言葉に」「十七音のパズル」「物語を紡ぐ」「思い出を形に」という5つの言語活動が設定されており、題材に応じて情報を収集、整理して、文章にまとめる学習を通して、書くことを体系的に学ぶことができるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・小説、詩歌などを通じて、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色などについて学ぶとともに、文学作品の内容を精査・解釈することができるような構成になっている。 ・人間や社会、文化などに関する評論や随筆などを通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる構成になっている。 ・教材末に「学習のポイント」が設けられ、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えるなど、読むことについて体系的に学ぶことができる構成になっている。

b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・教材末に「作家と作品」が設定され、関連図書を紹介する「読んでみよう」が設けられている。 ・「文学の窓」として、テーマごとに文学の解説が掲載され、その中の「ブックガイド」で関連する書籍が紹介されている。 ・「作品解説」の中の「ブックガイド」で関連図書が紹介されている。

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・「古典の世界」として、「醒睡笑」「沙石集」「枕草子」「源氏物語」「史記」など12の古典教材が掲載され、我が国の伝統や文化について理解を深めることができるよう工夫されている。 ・「恋のうた」という単元が設けられ、万葉集、白氏文集といった古典から中島みゆきの歌詞まで「恋」をテーマに比較しながら考えることで、我が国の伝統や文化について考えることができるよう工夫されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・「方丈記」の「安元の大火」が掲載されている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	・中島敦「山月記」で、「妻子の衣食のためについに節を屈して～地方官吏の職を奉ずる」という記述が見られる。

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	・作者や作品を紹介する動画サイトにアクセスしたり、音声や動画を視聴したりすることができるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	記載なし
自立した学習者の育成に資する工夫	・巻頭に「この教科書で身につく力」、「この教科書で学習するために」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標、学び方を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	文学国語

発行者（略称）	数研
教科書番号	文国104-901◆
教科書名	改訂版 文学国語
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> 教材末に「ことばと表現」が設けられ、語句、文体、修辞などについての理解を深められるよう工夫されている。 「チェックポイント」として「小説とはどのようなものか」「心情を読み取る」「詩歌を味わう」「表現の仕方に注目する」「隠れた心情まで読み取る」という5つのテーマの教材を設け、文学的な文章やそれに関する文章の特徴、文体の特徴や修辞などの表現の技法について理解できるよう工夫されている。
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> 「短歌」「俳句」の教材において、短歌や俳句を作る言語活動が設定されており、文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、独創的な文章を書くことができるよう工夫されている。 「文学的文章の創作」において、湊かなえ「物語のおわり」を題材として連作小説を創作する言語活動が設けられ、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫して創作することを学ぶことができるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> 小説、詩歌、戯曲などを通じて、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色などについて学ぶとともに、文学作品の内容を精査・解釈することができるような構成になっている。 文学に関する評論を通して、文学に対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる構成になっている。 教材末に「学習」「言語活動」が設けられ、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えるなど、読むことについて体系的に学ぶことができる構成になっている。
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> 教材末に「作品紹介」や「関連書籍」という項目やコラムが設けられている。 「ズームアップ」というコラムが設けられ、テーマごとに関連する書籍や作家が紹介されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> 中島敦「山月記」と「人虎伝」を読み比べる課題が設定され、比較しながらそれぞれの文化を尊重する考えをもてるよう工夫されている。 「古典と現代訳」として「源氏物語」とその訳文が取り上げられ、古典と現代語訳を比較しながら我が国の伝統や文化について理解を深めることができるよう工夫されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> 中島敦「山月記」で、「妻子の衣食のためについに節を屈して～一地方官吏の職を奉ずる」という記述が見られる。 角田光代「鍋セット」で、「女性誌の『男がよるこぶ料理』特集の上位～」という記述が見られる。
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> 作者や作品を紹介する動画サイトにアクセスしたり、朗読の音声や小テストの問題をダウンロードしたりすることができるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> カラーユニバーサルデザインに配慮されている。
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> 巻頭に「領域別学習の指針」、「この教科書で学習するために」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標、学び方を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	文学国語

発行者（略称）	明治
教科書番号	文国117-901◆
教科書名	新 精選 文学国語

(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・教材末に「言葉と表現」が設けられ、漢字や語彙、言葉遣いや表現の技法などについての理解を深められるよう工夫されている。 ・「小説文の形式」「〈文学〉の領域を更新する」「川柳の現在」など、6編のコラムが掲載され、文学的文章の種類や特徴、文体や表現技法などについての理解を深めることができるよう工夫されている。
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・「単元の言語活動」として、複数の作品を横断的に扱う言語活動が設定されており、その中で「小説の方法を読む」「誇らしさ」を探る」「さまざまなメディアに生息する〈文学を発見する〉」「言葉には不思議な力があることを確かめる」など、小説・手紙・手記・エッセイ・俳句などの創作を通して、文章の構成や展開について学ぶことができるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・小説、詩歌などを通じて、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色などについて学ぶとともに、文学作品の内容を精査・解釈することができるような構成になっている。 ・文学、戦争、都市、文化などに関する評論や随筆などを通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる構成になっている。 ・教材末に「学習のポイント」「言語活動」が設けられ、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方を的確に捉えるなど、構造と内容の把握から精査・解釈、考えの形成、共有まで読むことを体系的に学ぶことができる構成となっている。
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・「文学の窓」として、三島由紀夫「小説とは何か」、谷崎潤一郎「陰翳礼讃」など、各単元のテーマと関連する、著名な作家の9編の文章が掲載されている。 ・「本を読む楽しみ」というコラムが掲載されている。 ・巻末に「世界の文学はずばらしい—明日への読書のために—」というコラムが設けられている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・イ・ヨンスク『『東京語』の表象の成立』のなかで、「標準語」と「東京語」について考えることで、我が国の文化について理解できるよう工夫されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸川乱歩「押絵と旅する男」のなかで「啞」という言葉が使われ、注により「差別的な表現として、現在では使われない。」と述べられている。 ・「自他への配慮」という単元において、社会におけるマイノリティについて理解を深める機会が設けられている。
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・中島敦「山月記」で、「妻子の衣食のためについに節を屈して〜地方官吏の職を奉ずる」という記述が見られる。
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	記載なし
ユニバーサルデザインの視点	記載なし
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「この教科書で学習するに当たって」により学び方を示すとともに、各単元の冒頭において、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標が示されている。

教科名	国語
科目名	文学国語

発行者（略称）	筑摩
教科書番号	文国143-901
教科書名	文学国語 改訂版

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	・教材末に「表現」が設けられ、言葉遣いや表現の技法などについての理解を深められるよう工夫されている。 ・「読解の窓」として、「自他を繋げる言葉の役割」「メディアと身体」「コミュニケーション・モード」などの短いコラムが掲載され、文学的な文章の種類や特徴、文体や表現技法、文学的な文章で扱われる現代的な課題などについての理解を深めることができるよう工夫されている。
【書くこと】	・「構成と展開を工夫して、変身物語を書こう」「表現を工夫して大切な場所のエッセイを書こう」「『編集』という表現方法を楽しもう」「創作の背景について調べよう」という「書くこと」の言語活動が設定されており、文学的な文章を書くために選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にするなど、題材の設定から構成の検討、推敲、共有まで書くことを学ぶことができる構成になっている。
【読むこと】	・小説、詩歌などを通じて、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色などについて学ぶとともに、文学作品の内容を精査・解釈することができるような構成になっている。 ・人間や社会、文化や芸術、文学や伝統などに関する評論や随筆などを通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる構成になっている。 ・教材末に「学習」が設けられ、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方を的確に捉えるなど、構造と内容の把握から精査・解釈、考えの形成、共有まで読むことを体系的に学ぶことができる構成となっている。

b 読書に関する指導	
	・各部末に「読書案内」が設けられ、「新たな視野を手に入れる」「より深く追究する」というテーマに関連する書籍を紹介している。

《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・谷崎潤一郎「陰翳礼讃」、小林秀雄「無常ということ」、藤原辰史「金縷いの景色」において、我が国と他国の違いや、我が国固有のものへの捉え方について言及され、我が国の文化を尊重する態度を養うことができるよう工夫されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・川上弘美「神様」の「参考」として、福島第一原発事故後の世界に置き換えた「神様2011」を掲載している。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	・中島敦「山月記」で、「妻子の衣食のためについに節を屈して～地方官吏の職を奉ずる」という記述が見られる。

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	・関連する資料や書籍を紹介するサイトにアクセスできるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・ユニバーサルデザインフォントが採用されている。
自立した学習者の育成に資する工夫	・巻頭に「この教科書で育成する資質・能力」、「この教科書で学習するために」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標、学び方を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	文学国語

発行者（略称）	第一
教科書番号	文国183-901
教科書名	高等学校 改訂版 文学国語

(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	・教材末に、「学習の手引き」が設けられ、文学的文章の種類や特徴、文体や表現技法などについての理解を深められるよう工夫されている。 ・教材末に「言葉の手引き」が設けられ、漢字や語彙、言葉遣いや表現の技法などについての理解を深められるよう工夫されている。
【書くこと】	・教材末に「学習の手引き」が設けられ、扱った作品に関連して「書くこと」につながるよう課題が設定され、文学的文章を書くために情報を収集、整理して、表現したいことを明確にするなど、書くことを学ぶことができる構成になっている。 ・「創作」という言語活動が設けられ、「テーマを決めて短歌・俳句を作る」「物語を創造する」「小説の一場面を脚本化する」「古典を基にして物語を作る」という4つの活動が設定されており、文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、独創的な文章が書くことができるように工夫されている。
【読むこと】	・小説、詩歌などを通じて、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色などについて学ぶとともに、文学作品の内容を精査・解釈することができるような構成になっている。 ・芸術、戦争、文学などに関する評論や随筆などを通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる構成になっている。 ・教材末に「学習の手引き」が設けられ、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方を的確に捉えるなど、構造と内容の把握から精査・解釈、考えの形成、共有まで読むことを体系的に学ぶことができる構成となっている。
b 読書に関する指導	
	・各小説教材の末尾に「文学のしるべ」として、作者に関するコラムと関連する書籍を紹介する短い文章が掲載されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	・日本の伝統文化を論じた「花のいぎない」を通じて、我が国の伝統や文化について理解を深めることができるよう工夫されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	・中島敦「山月記」で、「妻子の衣食のためについに節を屈して～地方官吏の職を奉ずる」という記述が見られる。
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・関連する資料を紹介するサイトにアクセスできるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	・ユニバーサルデザインフォントが採用されている。 ・ユニバーサルデザイン（カラーバリアフリーを含む）に配慮されている。
自立した学習者の育成に資する工夫	・「この教科書で養う国語の力ー観点別教材一覧」、「教科書の構成と使い方」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標、学び方を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	文学国語

発行者（略称）	第一
教科書番号	文国710
教科書名	高等学校 標準文学国語

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・教材末に、「学習の手引き」が設けられ、文学的文章の種類や特徴、文体や表現技法などについて理解を深められるよう工夫されている。 ・各教材末に「言葉の手引き」が設けられ、漢字や語彙、言葉遣いや表現の技法などについての理解を深められるよう工夫されている。
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・教材末に「学習の手引き」が設けられ、扱った作品に関連して「書くこと」につながる課題が設定され、文学的文章を書くために情報を収集、整理して、表現したいことを明確にするなど、書くことを学ぶことができる構成になっている。 ・「創作をする」という単元が設けられ、「物語を創造する」「テーマを決めて短歌・俳句を作る」「古典を基にして物語を作る」という3つの活動が設定されており、文体の特徴や修辞の働きなどを考慮して、独創的な文章を書くことができるよう工夫されている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・小説、詩などを通じて、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色などについて学ぶとともに、文学作品の内容を精査・解釈することができるような構成になっている。 ・芸術、戦争、文学などに関する評論や随筆などを通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる構成になっている。 ・教材末に「学習の手引き」が設けられ、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方を的確に捉えるなど、構造と内容の把握から精査・解釈、考えの形成、共有まで読むことを体系的に学ぶことができる構成となっている。
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・各小説教材の末尾に「文学のしるべ」として、作者に関するコラムと関連する書籍を紹介する短い文章が掲載されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の伝統文化を論じた「花のいざない」を通じて、我が国の伝統や文化について理解を深めることができるよう工夫されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・中島敦「山月記」で、「妻子の衣食のためについに節を屈して～」という記述が見られる。

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・関連する資料を紹介するサイトにアクセスできるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン（カラーバリアフリーを含む。）に配慮している。
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭の「教科書の構成と使い方」により学び方を示すとともに、各単元の冒頭に「学習目標」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	文学国語

発行者（略称）	桐原
教科書番号	文国212-901◆
教科書名	探求 文学国語 改訂版
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・「小説コラム」「詩コラム」として、5編のコラムが設けられ、文体の特徴や表現技法、文学的な文章の種類や特徴などについての理解を深められるよう工夫されている。 ・教材末に設けられた「学習の手引き」の中に「表現」が設定され、文体の特徴や表現技法の理解を深められるよう工夫されている。 ・「小道具と時代背景」として、「固定電話」「ラジオ」「肺結核」「電報」「官費留学」という5つのコラムが掲載され、文学的な文章で扱われる小道具を通じて時代背景の理解を深めることができるよう工夫されている。
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・教材末の「学習の手引き」に「書く」活動が設定されるとともに、中でも手がかりが必要とされるものに「活動のプロセス」として「本を紹介する」「古典作品を翻案する」「短歌を作る」「エッセイを書く」「短編小説を書く」という教材が掲載されており、文学的な文章を書くために選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にするなど、題材の設定から構成の検討、推敲、共有まで書くことを学ぶことができる構成となっている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・小説、詩歌などを通じて、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色などについて学ぶとともに、文学作品の内容を精査・解釈することができるような構成になっている。 ・文学評論や人間や戦争に関する随筆などを通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる構成になっている。 ・教材末に「学習の手引き」「活動」が設けられ、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方を的確に捉えるなど、構造と内容の把握から精査・解釈、考えの形成、共有まで読むことを体系的に学ぶことができる構成となっている。
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・『『こころ』の舞台を歩く』『不条理文学の巨頭 カフカとカミュ』という特集ページが掲載されている。 ・「読書の羅針盤」が設けられ、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする書籍が紹介されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・中島敦「山月記」と「人虎伝」を読み比べる課題が設定され、比較しながらそれぞれの文化を尊重する考えをもてるよう工夫されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・中島敦「山月記」で、「妻子の衣食のためについに節を屈して～地方官吏の職を奉ずる」という記述が見られる。
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・関連する資料や音楽、動画等を紹介するサイトにアクセスできるよう二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	記載なし
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「各教材の活動一覧」、「この教科書で学習するために」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標、学び方を理解できるよう工夫されている。

教科名	国語
科目名	文学国語

発行者（略称）	桐原
教科書番号	文国711◆
教科書名	探求 文学国語

(1) 内容

a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【言葉の特徴や使い方に関する事項】	<ul style="list-style-type: none"> ・「小説コラム」「詩コラム」として、5編のコラムが設けられ、文体の特徴や表現技法、文学的な文章の種類や特徴などについての理解を深められるよう工夫されている。 ・教材末に設けられた「学習の手引き」の中に「表現」が設定され、文体の特徴や表現技法の理解を深められるよう工夫されている。 ・「小道具と時代背景」として、「固定電話」「電報」「ラジオ」「肺結核」「官費留学」という5つのコラムが掲載され、文学的な文章で扱われる小道具を通じて時代背景の理解を深めることができるよう工夫されている。
【書くこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・教材末の「学習の手引き」に「書く」活動が設定されるとともに、中でも手がかりが必要とされるものに「活動のプロセス」として「本を紹介する」「古典作品を翻案する」「短歌を作る」「エッセイを書く」「短編小説を書く」という五つの教材が掲載されており、文学的な文章を書くために選んだ題材に応じて情報を収集、整理して、表現したいことを明確にするなど、題材の設定から構成の検討、推敲、共有まで書くことを学ぶことができる構成となっている。
【読むこと】	<ul style="list-style-type: none"> ・小説、詩歌などを通じて、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色などについて学ぶとともに、文学作品の内容を精査・解釈することができるような構成になっている。 ・文学評論や人間や戦争に関する随筆などを通して、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる構成になっている。 ・教材末に「学習の手引き」「活動」が設けられ、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方を的確に捉えるなど、構造と内容の把握から精査・解釈、考えの形成、共有まで読むことを体系的に学ぶことができる構成となっている。
b 読書に関する指導	
	<ul style="list-style-type: none"> ・『『こころ』の舞台を歩く』『不条理文学の巨頭 カフカとカミュ』という特集ページが掲載されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・「山月記」と「人虎伝」を読み比べる課題が設定され、比較しながらそれぞれの文化を尊重する考えをもてるよう工夫されている。
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	<ul style="list-style-type: none"> ・中島敦「山月記」で、「妻子の衣食のためについに節を屈して～」という記述が見られる。

(2) 構成上の工夫

デジタルコンテンツの扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・関連する資料や音楽、動画等を紹介するサイトにアクセスできるように二次元コードを掲載している。
ユニバーサルデザインの視点	記載なし
自立した学習者の育成に資する工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「各教材の活動一覧」、「この教科書で学習するために」が示され、学習者自身が身に付けるべき力や学習目標、学び方を理解できるよう工夫されている。